



議会だより

かたしな

No. 128 平成23年4月20日発行



PHOTO

4月5日 南保育所の入園式

主な内容

3月定例会で決めたこと	2~5
村政を問う 1名が一般質問	6
任期満了あいさつ・被災者受入れ先訪問・懇談会	7
議会活動日誌・編集後記	8

平成23年度 予算案可決

片品村議会は3月4日から11日までの会期で3月定例会を開催しました。
一般質問に続いて、条例・指定管理者の指定・発議・人事・22年度補正予算・23年度予算など30議案が提出されました。
議会は、予算説明会、各常任委員会と本会議での審議のうえ、すべての議案を可決しました。

3月定例会

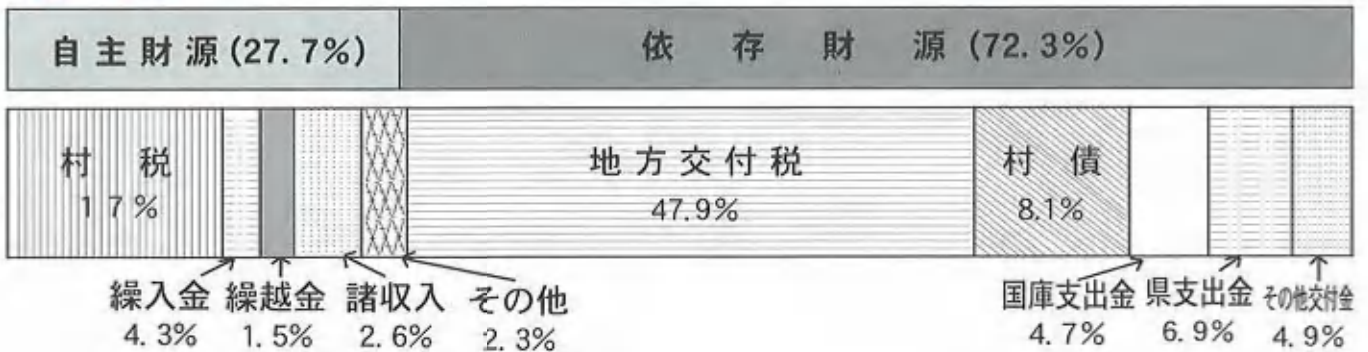
平成23年度 片品村一般会計

32億3,900万円

前年対比
0.8%

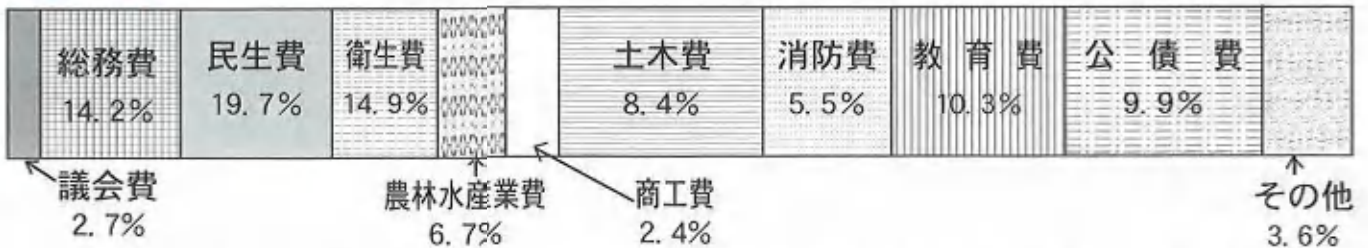
- ◆ 自主・自立を目指して
- ◆ 村民と行政の協働を基本に
- ◆ 第3次総合計画・後期の重点事業を

歳入



◎ 前年度比で、村税・たばこ税などの減で-2.4%、地方交付税は同額、基金(貯金)から1億3800万円、村債(新たな借金)は-6.1%

歳出



◎ 前年度比で、議会費・議員年金負担で+29.6%、土木費・尾瀬大橋公園完成で-27.5%、公債費(借金返済)は-3.6%

《主な事業・新たな事業》

- ★電気自動車用の高速充電機
- ★全額国庫負担での子ども手当
- ★通学費補助の充実
- ★村立学校のあり方検討委員会の設置
- ★図書室の土日開館
- ★塗川橋の設計
- ★有害鳥獣対策
- ★雇用の創出
- ★群馬DCにあわせてバス運行

充電中の電気自動車



23年度特別会計

単位：千円

会計名	予算	一般会計繰入金	前年対比	備考
国民健康保険	849,242	72,752	102.9%	
簡易水道事業	80,000	8,767	94.5%	
観光施設事業	120,209	115,000	96.6%	収益的収入
介護保険	405,195	57,788	113.3%	
下水道事業等	127,661	105,403	92.8%	
後期高齢者医療	49,487	20,887	106.4%	
合計	1,631,794	380,597	103.5%	

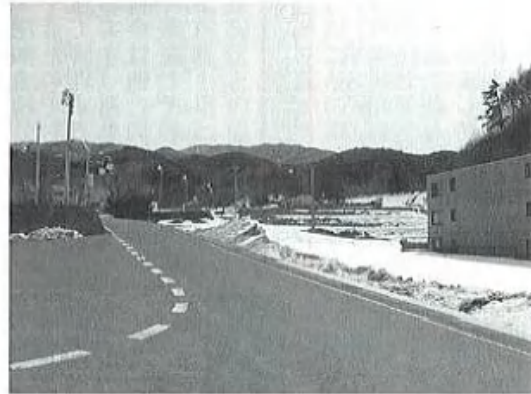
前年対比
103.5%

※ 一般会計繰入金は、前年対比102.6%

平成22年度 補正予算

単位：千円

会計名	補正額	補正後
一般会計	325,527	3,706,644
国民健康保険	38,863	828,487
老人保健	△50	24,314
簡易水道事業	△3,520	86,580
観光施設事業	879	120,005
介護保険	33,815	408,601
下水道事業等	△2,610	133,801
後期高齢者医療	△1,027	46,430



中学校歩道を含む進入路整備予定地

* 国の補助金を利用した中学校の安全歩道等設置に1億1957万円

* 地方交付税などで教育と地域づくりに各1億、総額2億7000万円を基金（貯金）積立

* 国保・介護保険に一般会計と貯金から6438万円補てん

* 老人保健は残金2160万円を一般会計へ支出して終了

◎ 次の事業は23年度に繰り越します

- 庁舎多目的トイレ整備 1400万円
- 地デジ難視聴地域解消 944万円
- 土出公民館整備 5578万円
- 村道整備 1660万円
- 尾瀬大橋公園整備 710万円
- 中学校安全歩道等整備 1億1957万円
- 中学校公用車購入 431万円

条例の制定・一部改正

◎村立学校のあり方検討委員会設置条例制定

急速に進む少子化や校舎等の老朽化など今後の村内の学校にはさまざまな問題が山積しています。今後の方向性を考えていく中で1年間審議をしていただくもので、教育振興基本計画にも即したものです。
(全員賛成)

◎片品村職員の育児休業等の一部改正

国家公務員の育児休業等の法律の改正に伴い片品村職員の育児休業等に関する条例を改正するものです。
(全員賛成)

◎外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇に関する条例の一部改正

国の法律改正に伴い条例を改正するものです。
(全員賛成)

◎特別職の報酬条例の一部改正

学校のあり方検討委員の報酬を他の委員と同様に8000円とするものです。
(全員賛成)

◎職員給与条例の一部改正

国の病気休暇制度等の改正に伴い職員の給与条例を改正するものです。
(全員賛成)

◎税条例の一部改正

固定資産税の第4期の納期を1月1日から1月31日に変更するものです。
(全員賛成)

◎国保条例の一部改正

第6期の納期を12月25日までとするものです。
(全員賛成)

◎後期高齢者医療条例の一部改正

第5期の納期を12月25日までとするものです。
(全員賛成)

◎小口資金融資条例の一部改正

融資期間を3年間延長できるものです。
(全員賛成)

◎運動施設設置管理条例の一部改正

尾瀬大橋公園が整備できたので村有施設として管理するためのものです。運動場の使用料金は他と同様に午前午後それぞれ5000円です。
(全員賛成)

◎指定管理者の指定

戸倉ぶらり館等、武尊牧場観光施設、片品村住民センター、花の賑片品、老人憩の家等につきまして各区、武尊山観光開発(株)並

びに片品村振興公社(株)にお願ひしてきましたが契約期間満了のため引き続き5年間お願ひするものです。尾瀬大橋公園は整備が済み、鎌田区の中詰もありお願ひするものです。
(全員賛成)

◎発議 議会の委任による長の専決処分指定

村独自の判断を伴わない条例の改廃、損害賠償が100万円以下の額の決定及び和解、市町村で構成する事務組合や広域連合での増減、請負代金の10分の2を超えない変更については村長が決めることができる。
(全員賛成)

人事

◇人権擁護委員候補者の推薦

片品村招測
青木博子さんが推薦されました。

※ 税条例の一部改正については、周知徹底を図るために平成24年度から納期が変更になります。

請願陳情審議結果一覧表

3月定例会において審議された請願陳情は、下記のとおり決定しました。

陳情

受理年月日	件名	陳情者	審議結果
平成23年 2月8日	公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため「公契約条例」の制定を求める陳情他1件	沼田市白岩町213番地 利根沼田労働組合 議長 加藤 貴	議員配布

こんな質疑がありました

【片品村立学校のあり方検討委員会設置条例の制定について】

質疑（大竹文夫議員）

非常に重要な条例と考えている。一年の委員任期の理由について、また組織についてはどのような団体を想定しているのか。なお、教育委員会との関係についてはどうのように考えているのか。

答（村長）

確実に少子化が進んでいる実態に対応するとともに、今、緊急に問題が生じていることではないが、耐震補強を図ること等が必要である。

答（教育次長）

全子供たちが平等に教育を受けられるよう、PTA、保育所の保護者会、議会、その他の団体についても検討を進めます。

答（教育長）

教育委員会は、学校のあり方について最終的に決定する機関でありますので、将来に対する方向付けの判断をするために検討委員会を設置し審議をしていただくものであります。

質疑（大竹文夫議員）

より良い教育のあり方、学校のあり方をするためにはあまり拙速でないほうがいいと考えるが。

答（村長）

1年間で方向性が見いだせると考えているが、長期的になる場合であれば相談させていただく。

質疑（大竹文夫議員）

重要な問題なので努力を惜しまず慎重に取り組んでいただきたい。

【尾瀬大橋公園の指定管理者の指定について】

質疑（高橋正治議員）

地域住民を始め、長年の村民の念願がかない立派に建設ができたことに深く敬意と感謝を表するものです。管理運営については、鎌田区との協議を慎重に何度も重ね、結果双方最善の方法で管理の調整に至ったとの理解でよろしいのか。

答（農林建設課長）

そのとおり何度も協議を重ねてきました。高、トイレの管理についての浄化槽の保守点検、電気料等については清算等を踏まえ、村で負担をいたします。

【平成22年度片品村一般会計補正予算について】

質疑（大竹文夫議員）

中学校管理費で、安心、安全のための事業について今後の具体的な計画がどのように進行するのか。

質疑（大竹文夫議員）

地域づくり事業基金の1億円の積み立てについての必要性は、

答（教育長）

現在のバス停から校門部分間の約246mで、歩道幅員3・5m車道5・5mの改良工事です。合わせて乗用車36台分の駐車スペースを設け、水道山周辺部分については歩道147mを計画しています。

【平成23年度片品村一般会計予算】

質疑（大竹文夫議員）

今後の進め方については、事業実施年度が23年度になりますので、繰越明許費での対応です。夏前に工事着工できればと現在準備を進めています。

答（村長）

基金の1億円については、働く場所の事業に対応します。また、村の農産物を付加価値を付けて販売するため第6次産業の取組強化と販路拡大等の資金として活かしていきたい。

質疑（大竹文夫議員）

首都圏の食糧基地として、片品しか作れない片品に適した物を作るため、耕作放棄地を解消し、若い人の雇用

も含め農業の基盤整備を進めるべきと考えるが。

答（村長）

総合計画後期基本計画にありますように当然、今後取り組んでいかなければと考えている。

【平成23年度片品村一般会計予算】

質疑（大竹文夫議員）

議員年金廃止をめぐる状況と今後の見通しについて。

答（議会事務局長）

議員年金については6月1日現在で廃止の見込みであります。したがって今後の対処についてはの予算処理であります。24年度以降については、各町村の試算はまだ出ておりません。

質疑（大竹文夫議員）

電気自動車購入に伴う高速充電器の購入2基の設置場所は、子ども手当村費ゼロの計上についての考え方について。

答（村長）

高速充電器の設置場所については、役場と花の駅片品に設置予定であり、費用については全額県の負担をお願いしています。

子ども手当については、全額国の負担での計画であります。国が地方分の支出をすることが出来ない場合は補正で対応します。

質疑（大竹文夫議員）

図書室、土・日の開館についての趣旨と具体的な計画は。

答（教育長）

地区別懇談会等を踏まえ、図書室に対する様々な意見、提言等をいただき、教育振興計画を策定しました。その計画に基づくものであります。計画としては、年2カ月、開館時間午後1時30分から5時30分までの4時間、土曜日、日曜日の開館を予定しています。

村政を問う 1名が一般質問

高橋 正治 議員



◆(仮称)観光振興対策委員会の設立は 村長 計画の具現化に向け検討

問 観光産業一段と厳しい状況化に対応するため、今こそ関係者一体となって(仮称)観光振興対策委員会の設

答(村長)

第3次総合計画後期基本計画づくりでも、十分に踏まえて計画策定を行いました。関係者のご理解とご協力のもとに計画の具現化に向け検討が必要。

◆高原野菜等の高付加価値化の取組強化とグリーンツーリズム推進は 村長 積極的に取り組んでいく

問 喜ばれる農業を推進し、高付加価値の特産品を作り出しグリーンツーリズムの強化推進が強く求められており村活性化に効果があると考えるが、

答(村長)

農業を中心とした6次産業化の推進は重要な位置付けと考えており、雇用の確保にもつながるので、修学旅行者の誘致等を含めたグリーンツーリズムの推進とともに積極的に取り組んでいく。



◆群馬デステイネーション(DC)の取組とその効果は むらづくり観光課長 メリットがあるところを見極め取り組んでいく 地域を元気にする効果



群馬DC

問 本年7月～9月に開催される、大型観光キャンペーン群馬デステイネーションキャンペーン(DC)の取組と期待される効果は、

答(むらづくり観光課長) 新たな観光企画の検討を行い、ヘルスツーリズムの推進、着地型ツアーとして専用ホームページの立ち上げ完

◆地上デジタル放送に伴う難視聴地域及び高齢者世帯等の対策は 村長 難視聴地域すべてに整備を進めている 総務省で対応

問 地デジ放送に伴う難視聴地域についての送受信施設の工事の進捗状況と生活弱者である高齢者世帯のチューナー支援対策は、

答(村長)

難視聴8地域すべてに共聴施設整備事業を進めており、6地区について運用を開始している。

信を行い、村の情報発信強化に努める。また、期間中上毛高原駅や後閑駅と武尊牧場を直結するバスの運行を行う。効果については、県全体のイメージアップにつながり、村としては、購買、宿泊等の効果が期待できるので一過性のものとしないうで地域が元気になる取組とする。

残る2地区についても早期に完成できるように準備を進めている。高齢者世帯等に対するチューナー支援対策については、総務省が受信機購入支援として、チューナー無償給付等の支援を行っている。7月には全村民が地上デジタル放送が視聴できるよう今後とも周知を図る。

◎任期満了に伴う「あいさつ」

村議会議員の任期満了に伴い、退任するにあたりまして「あいさつ」を申し上げます。

社会情勢が不安定な中、アメリカのサブプライム問題に端を発した世界同時不況に始まり、激動の4年間でありました。

そんな中、片品村においては念願であった椎坂トンネルの工事が着工され、早期完成が待たれるところであります。

また、日光市議会との交流も始まり、国道120号線金精峠の年間通行にも期待が膨らむところであります。また、悲しい出来事も起こりました。

去る3月11日午後2時46分、国内最大級の地震が発生し、東北、関東に甚大な被害をもたらし、多くの方々が被災され、尊い命が奪われましたことは日本中が心を痛めているところでもあります。

今後は、一人一人が一致団結して、この災

害を乗り越えなくてはなりません。片品村においても、積極的に協力していきたいと考えております。

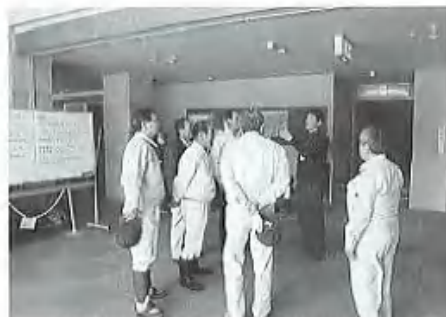
今後も村の発展と安心、安全な村づくりのために村民の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げますとともに、任期中には格別のご指導、ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。退任のあいさつと致します。

片品村議会
議長 入澤 登喜夫



●被災者受入れ先を訪問

3月20日、総務文教・観光産業の両委員会に別れて村内の被災者受け入れ先を訪問した。



被災者受入れ施設を訪問激励

■議会と区長会との懇談会

3月9日今年度2回目となる議会と区長会との懇談会を行いました。

この懇談会は、議会と現区長さん及び23年度新しく区長さんになる皆さんとの懇談会です。

内容は多岐にわたり、生徒の安全を図るため片中校庭南側の道路拡幅と駐車場並びに歩道を整備する安全対策事業を始め、学校のあり

方を研究する検討委員会の設置、有害鳥獣駆除対策、尾瀬大橋公園の管理方法、地デジ放送対応、除雪対策問題等議題の多い懇談会でした。

特に熊、シカ、サル、イノシシ等による農作物の被害対策については各区とも深刻な問題であり、今後とも情報交換と対策が必要であることを確認しました。



ホンダからの支援車両2台



進入防止ネットに近寄るサル

★東日本大震災の被災者受入れを了承

3月16日議会全員協議会が緊急に開かれ、11日に発生した大地震・大津波被災者の受入れについて村から報告された。旅館民宿組合の協力をうけて、1000名を福島県から受入れる。

南相馬市の国道6号まで流れついた漁船



南相馬市民受入れバス

議会活動日誌

2月

- 15 総合計画策定審議会
- 16 片品村上下水道運営協議会
- " 片品村学校給食センター運営委員会
- " 片品村営観光施設事業運営委員会
- " 片品村国民健康保険運営協議会
- " 片品村介護保険運営協議会
- 17 尾瀬クリーンセンター全員協議会
- " 尾瀬クリーンセンター2月定例会
- 18 かたしなの特色ある教育活動交流会

- 23 議会運営委員会
- " 議会全員協議会

3月

- 4 3月定例会開会
- 7 予算説明会
- 8 予算説明会
- 9 総務文教常任委員会
- " 観光産業常任委員会
- " 区長と議会との懇談会
- 10 議会だより編集委員会
- 11 片品中学校卒業式
- " 議会定例会
- 16 議会全員協議会

- 20 被災者受入れ先訪問(全議員)
- 24 各小学校卒業式
- 29 保育所卒園式

4月

- 5 保育所入園式
- 5 区長・区長代理・組長初会議
- 6 議会だより編集委員会
- 7 各小学校入学式
- " 中学校入学式
- " 被災者受入れ先訪問(全議員)

期間は1カ月から6カ月。小中学生の学校受入れも行う。予算措置については専決処分で行う。予算はおおよそ7500万から1億円を予定する。以上について了承し、議会としても協力することを確認した。

お知らせ

◎次回定例会は6月です。

議会だより・会議録がホームページで見られます。
URL: <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

みなさんの傍聴をお待ちしています。
問い合わせ【TEL 58-2119】

印刷所

笠原印刷有限会社

入澤 登喜夫
高橋 正治
吉野 勲
星野 長命
星野 完治

◎◎ 大竹 文夫
◎ 星野 千里

編集委員

入澤 登喜夫

発行責任者

片品村議会

発行

【大竹 文夫記】

編集後記

現議員で最後の議会だよりの編集でした。3月議会の最終日、本会議終了後の議員会で地震に遭遇。テレビに写し出される津波の姿は現実のものとは思えませんでした。その後明らかになりつつある被災状況と原発事故の底知れなき。群馬県産のホウレン草が出荷できなくなってしまいました。人口49000人(昨年の国勢調査速報値)の片品が1000人の被災者を受入れ、私も県内外の友人たちから激励の電話をいただきました。被災者の皆さんを励まし、皆さんの頑張りから力をもらいながら、大震災と原発事故を跳ね返していきたいものです。私たちの任期は4月29日までです。新議員の皆さんの健闘を祈ります。